

# 令和6年度 第2回 いじめ実態調査

7月～11月末

全校

資料3

## 1 いじめ実態把握のための調査方法 【校】

	小学校	中学校
アンケート調査	16	9
イ 教育相談（面談）	16	9
ウ 生活記録相談ノート等	3	8
エ 相談ポスト	9	3
オ その他	3	0

## 2 いじめの認知状況

【認知件数】 【件】

小学校	すでに解消しているもの	144
	一定の解消が図られたが継続支援中のもの	166
	解消に向けて取組中のもの	36
	合 計	346
中学校	すでに解消しているもの	32
	一定の解消が図られたが継続支援中のもの	87
	解消に向けて取組中のもの	24
	合 計	143

1000人あたりの認知件数：小…46.4件、中…35.2件、全体…42.4件

【認知状況分布】

	0件	1～5件	6～10件	11～15件	16～20件	21～25件	26～30件	31件以上
小学校	0	1	6	0	3	3	1	2
中学校	0	1	4	1	0	1	0	2

16

9

## 3 いじめの事実を最初にどのようにして見つけたか【件】

		小学校	中学校
学校	学級担任	59	11
	担任以外の教職員	1	3
	養護教諭	0	1
	カウンセラーや相談員	3	0
	アンケート調査	105	84
学校以外	本人から	93	35
	本人の保護者から	60	7
	他の児童生徒から	23	2
	他の保護者から	0	0
	第三者から	1	0
	その他	1	0
合 計		346	143

## 4 学校が行つたいじめ問題に対する日常の取り組み 【校】

	小学校	中学校
職員会議等で教職員の共通理解	16	9
いじめ問題に関わる校内教職員研修を実施	9	2
道徳・学活等で取り上げ指導	16	8
全校集会・学年集会等で指導	15	5
児童・生徒会活動等を通していじめ問題を考えさせる	3	2
人間関係づくりや仲間づくりを促進する活動	14	8
インターネットを通じて行われるいじめの防止に関わる取組	11	6
カウンセラー、相談員、養護教諭による相談	15	7
教育相談体制などの校内組織の整備	13	8
学校以外の相談窓口の周知など専門機関との連携	10	7
いじめ対応方針や指導計画の外部への公表	11	8
PTA・地域関係団体とともにいじめ問題について協議	4	2
地域の関係機関との連携協力	3	3
学級通信・学年通信・学校通信等での取り扱いによる意識高揚	3	4
その他	0	0

16

9

## 5 校内いじめ対策委員会の開催数 【校】

	1回	2回	3回	4回	5回以上
小学校	12	0	0	2	2
中学校	4	1	1	0	3

【いじめの定義】  
児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童生徒と一定の人的関係にある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものも含む）であつて、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの

【参考】6年度4月～7月末調査結果 【参考】5年度7月～11月末調査結果

定義	すべて	定義
82	97	97
107	88	88
44	51	50
233	236	235
16	72	67
104	101	91
31	32	30
151	205	188

小31.2 中37.1 全体33.3 小30.5 中45.6 全体35.7